

経理・経営の状況

◆利益率

		(単位：%)	
		2021年度	2022年度
総資産 利益率	業務純益率	0.21	0.21
	経常利益率	0.21	0.21
	当期純利益率	0.16	0.16
純資産 利益率	業務純益率	3.51	3.71
	経常利益率	3.47	3.66
	当期純利益率	2.60	2.76

(注) 1. 総資産利益率 = $\frac{\text{利益}}{\text{総資産(債務保証見返を除く)平均残高}} \times 100$
 2. 純資産利益率 = $\frac{\text{利益}}{\text{純資産(外部流出額を除く)期末残高}} \times 100$

◆総資金利鞘

		(単位：%)	
		2021年度	2022年度
資金運用利回	0.97	0.93	
資金調達原価率	0.69	0.65	
資金調達利回	0.01	0.02	
経費率	0.71	0.66	
総資金利鞘	0.28	0.28	

◆粗利益

		(単位：百万円、%)	
		2021年度	2022年度
資金運用収支	12,833	12,796	
役務取引等収支	△2,353	△2,516	
その他業務収支	1,069	1,202	
業務粗利益	11,549	11,481	
業務粗利益率	0.85	0.82	

(注) 1. 「業務粗利益」とは、預金、貸出金、有価証券などの利息収支を示す「資金利益」、各種手数料収支を示す「役務取引等利益」、債券などの売買損益を示す「その他業務利益」の合計です。

2. 業務粗利益率 = $\frac{\text{業務粗利益}}{\text{資金運用勘定平均残高}} \times 100$

◆業務純益

		(単位：百万円)	
		2021年度	2022年度
業務純益	2,960	3,082	
実質業務純益	2,960	3,082	
コア業務純益	2,950	3,056	
コア業務純益(投資信託解約損益を除く。)	2,950	3,056	

(注) 1. 「業務純益」とは、「業務粗利益」から、「貸倒引当金繰入額」および「経費」を控除したもので、金融機関の基本的な業務の成果を示すといわれる利益指標です。なお、業務純益から控除する「貸倒引当金繰入額」は、貸倒引当金が全体として繰入超過の場合、個別貸倒引当金繰入額(または取崩額)を除きます。また、同じく「経費」は、退職給付費用のうち数理計算上の差異の償却額など臨時的な経費等を除きます。

2. 「実質業務純益」とは、業務純益に一般貸倒引当金繰入額を加えた利益指標です。

3. 「コア業務純益」とは、実質業務純益から国債等債券関係損益による一時的な変動要因を除いた利益指標です。

4. 「コア業務純益(投資信託解約損益を除く。)」とは、コア業務純益から投資信託解約損益を除いた利益指標です。

◆資金運用・調達勘定の平残、利息

	2021年度		2022年度	
	資金運用勘定	資金調達勘定	資金運用勘定	資金調達勘定
平均残高	1,347,659	1,275,687	1,393,888	1,320,060
利息	13,084	251	13,069	272
利息増減額	1	△55	△15	21

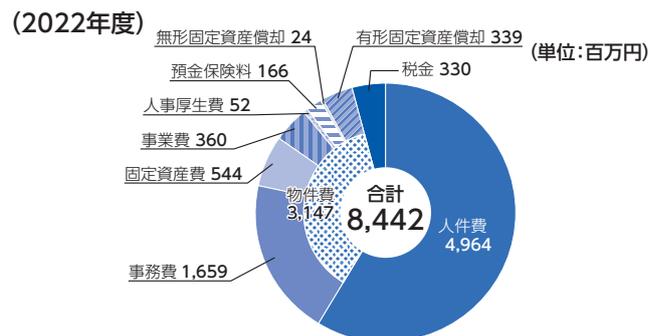
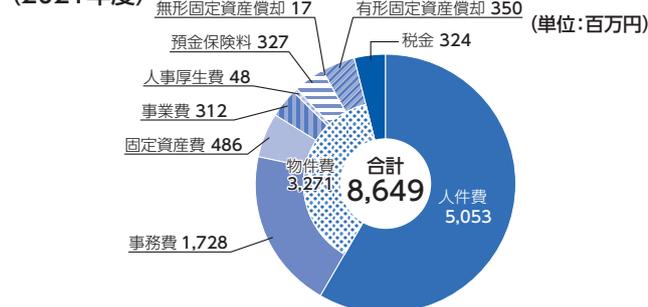
◆役務取引等収支の内訳

		(単位：百万円)	
		2021年度	2022年度
役務取引等収益	703	691	
受入為替手数料	117	104	
その他の受入手数料	585	587	
その他	—	—	
役務取引等費用	3,056	3,208	
支払為替手数料	440	456	
その他の支払手数料	26	26	
その他	2,589	2,725	

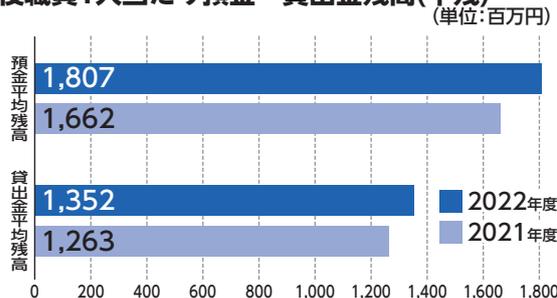
◆その他の業務収支の内訳

		(単位：百万円)	
		2021年度	2022年度
その他業務収益	1,070	1,203	
外国為替売買益	0	—	
国債等債券売却益	9	25	
その他	1,060	1,178	
その他業務費用	1	1	
外国為替売買損	—	0	
国債等債券売却損	—	—	
国債等債券償還損	—	—	
その他	1	1	

◆経費の内訳

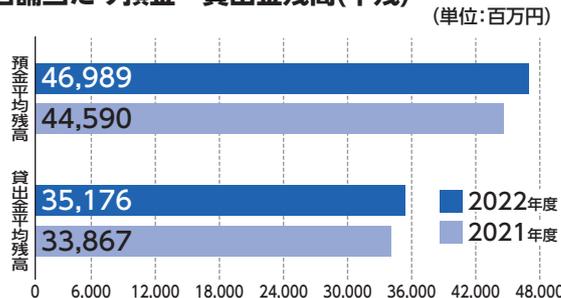


◆常勤役員1人当たり預金・貸出金残高(平残)



(注) 役員員数は期中平均人数を使用しています。

◆1店舗当たり預金・貸出金残高(平残)



(注) 1. 期末の店舗数を使用しています。
 2. 店舗数には、インターネット静岡支店を含みます。